

平成26年11月17日～11月20日の3泊4日のスケジュールで、愛媛県伊予市双海町翠地区の「ホタルの里」、岡山県英田郡西栗倉村の森林の再生に村の未来をかける各種事業視察について以下の通り報告する。

1、「ホタルの里」の復活について  
(愛媛県伊予市双海町翠地区)

ホタルの棲んでいる地域は、翠地区を流れる竹の川と南川の合流地点から1kmの範囲で、川の水は非常にきれいで溜まりには鯉が泳いでいる。川面観察の後、すぐ近くにある翠小学校でホタル保存会の武井会長からホタル復活への道のりを聞いた。

「昭和35年頃までは6月ともなると無数のホタルが飛び交っていたが、年々減少し昭和48年頃にはほとんど見られなくなりました。原因は水田への農薬と生活廃水の流入であった。」

地域住民の努力が実を結び、ホタルの数も徐々に増えていった。そして、昭和62年からは毎年6月の第1土曜日に、翠小学校を会場にホタル祭りを開催している。

環境を保護するのも破壊するのにも人間である。一度失ったものを元に戻すには、それ相当の年月がかかることを改めて知る機会となった。」



会長は淡々と話を進めていたが、地域の方々のホタル復活への熱意がひしひしと伝わってきた。

2、西栗倉の取り組み  
(岡山県英田郡西栗倉村)

人口1538人、高齢化率32%で村の面積わずか580ha、95%が森林、87%が人工林でスギ、ヒノキが主な樹種である。

平成の大合併の時、村民の60%が合併賛成といこととで5町2村の合併協議会に参加するも、最終的には60%が反対ということになって自立の道を歩むことになった。

その後は林業を中心とした様々な事業に取り組み、積極的にイターン者を受け入れ、村民、森林組合、役場、森の学校等が一体となって「森づくり・地域づくり」を行っている。今までに50人以上のイターン者を受け入れ、現在も様々な職場で活躍している。

村は小水力発電に取り組んでいて昭和41年西栗倉発電所を建設した。発電した出力290kw/h(約700世帯分に相当)の電力を電力会社に売電し、これまでの売電収入は9億円となる。



ただあくまでも村の中心事業は森林であり、今後は木質バイオマスに力を入れていくとの事である。

西栗倉村のコンセプトでもある「百年の森構想」についての話を聞いた。「地域には捨ててはいけぬものがある。苦勞を重ねて地域を守ってきた先人のため、これから生きていく子ども達のため、そしてこの地域に愛着を持ち関わってくれるたくさんの方々のため、約50年前に木を植えた人々の想いを大切にして、立派な百年の森林に育て上げていく。その為にあと50年村ぐるみで挑戦を続けていく。」

自立の道を決めた西栗倉村と同様にわが津別町も町民の意志で自立の道を歩み始め、またどちらも森林を主な産業とするところなど共通点がある。森林の状況については、西栗倉村の森林は民有林が中心で、一方津別町は国、道、町有林が中心となっている。この視察を通じて「愛林のまち つべつ」を宣言した町として100年先を見据えた計画は十分なのかと考える良い機会となった。

津別町人づくり・まちづくり活動支援事業募集のお知らせ

平成26年度  
3回目

町では、『津別町人づくり・まちづくり活動支援事業』として、産業、福祉、芸術文化、スポーツ、コミュニティー活動など様々な分野で地域の活性化を図ることを目的に、まちづくりのリーダーの育成及び町民の自主的なまちづくり活動を支援しています。

募集期間 平成27年2月2日(月)～2月23日(月)

今年度の期間が残りわずかとなりましたので、申請を予定されている方は、早めに申請願います。

- 人づくり活動支援事業 対象...町民が国内外で研修する事業  
補助額...補助対象経費の1/2以内(限度額:国内8万円、国外20万円)
- まちづくり活動支援事業 対象...町内の団体が既存の活動の拡充となる自主的なまちづくり活動を行う事業  
(過去に申請した団体でも別事業での申請が可能になりました)  
補助額...補助対象経費の総額以内(限度額:100万円 下限額5万円)
- 事業の承認 申請者は、必要書類提出後、審査会において審査委員に事業概要等を説明していただきます(プレゼンテーション)。そこでの審査の結果、事業が採択されます。

参考(過去に採択された事業)

《人づくり事業》グリーン・アンド・エコロジー・タウン基盤づくり事業、JA北海道女性協議会海外視察研修、指導者養成事業(プロンズライセンスセミナー受講) 森林セラピスト資格認定講習会、エコタウン先進事例調査、有機酪農先進地視察研修事業、全道SRUニュージールランド先進地視察、台湾二水郷視察研修事業、林業先進地視察、津別町玉葱振興会青年部道外視察研修、津別町ラグビーチームサポータークラブ視察研修、先進地視察研修ニュージールランド、ウィルダネスファーストエイド野外、災害救急法《まちづくり事業》ものそとFORUM、つべつHappyママプロジェクト、楽ガキコンパネ祭りin相生2014、ビストログROW

申請及び問い合わせ先 住民企画課 住民企画グループ ☎76-2151(内線215)

消費生活モニターの募集について

北海道では、消費者からの意見や要望、苦情等を把握し、消費者行政に役立てるため、「消費生活モニター」を募集します。

- 公募人数 1名(津別町で委嘱される人数)
- 応募資格 (1)津別町内に居住する20歳以上で、日常生活のための商品・サービスの購入を継続して行っている方。  
(2)原則として、北海道が主催する消費生活モニター研修会に出席できる方(研修会は4月上旬に北見市で開催され1日で終了)
- 仕事内容 (1)消費生活に関する意見、要望及び情報を提供する。  
(2)生活関連重要商品などの価格動向及び出回り状況、不当な表示などについて調査を行う。  
(3)消費生活に関するアンケートに回答する。
- 任期 平成27年4月1日～平成28年3月31日
- 謝礼金 北海道から月額1,800円が支払われます。
- 応募締切 平成27年2月27日(金)
- 応募・問い合わせ先 役場商工観光グループ(担当:山本)

☎76-2151(内線258) FAX 76-2976  
氏名、生年月日、住所、世帯人員、本人及び世帯主の職業をお聞きます。



《津別町人づくり・まちづくり活動支援事業》  
申請・問い合わせ先 住民企画課住民企画グループ  
☎76-2151(内線215)

事業名 グリーン・アンド・エコロジー・タウン  
基盤づくり事業

申請者 NPOつべつ自然の会  
参加者 つべつ自然の会より7名参加  
総事業費 76万5000円  
町よりの補助金 38万2500円  
自己負担 38万2500円(7名分)